

重症心身障害児者入所施設におけるリフターの導入と“活かし方”

-介護量の軽減から現場に余裕と遊びを生み出す-

新設時に各居室に天井走行リフトを導入したものの「結局、抱えた方が早い。」「忙しくて使用していない。」との現場の声から、スタッフに「ケアにリフトは欠かせない」までに至った経緯およびポジティブなリフト活用事例について紹介して頂きます。
是非、この機会にご視聴ください。

セミナー内容

- ・「抱えない介護」を現場に定着させるための工夫
- ・職員の身体的な負担の軽減だけでなく、利用者の安心感や生活の質が向上した実例
- ・写真や使用場面を通して学ぶ、明日から試せる活用ポイント



対象者

障害児・者の支援者の方、介護・看護従事者の方、セラピスト、福祉用具事業者など

講師

廣澤 匠 理学療法士

略歴：理学療法士として15年間、重症心身障害児のある方に携わる。
ライフゆう入職後は利用者の活動・参加の質の向上を目的に、
現場でリフターを活用した遊び等の活動を実践している



日時 および 申込方法

2026年3月20日(金・祝)11:30~12:30

下記 URL または右記の二次元コードからお申込みください

<https://www.abilities.jp/com/event/arc10>

視聴について：ZOOMのURLは、後日メールでお送り致します

参加費：無料



お問い合わせ

アビリティーズ・ケアネット株式会社 リハビリ・福祉機器総合展示場(横浜市)
電話：080-3214-3441 担当：近藤